

オオカミの再導入政策



Howlin' Ks Nature Schoolのハイ
イロオオカミ(2013/10/6撮影)

釧路公立大学 環境地理学演習
岩井 俊希

発表の流れ

- 調査方法

1. エゾシカ被害の実態
2. 現在とられてるエゾシカ対策
3. オオカミの再導入論
4. オオカミの再導入政策の是非
5. まとめ
6. 政策提言

- 質疑応答



Howlin' Ks Nature Schoolのハイイロオオカミ(2013/10/6撮影)

調査方法

- 円山動物園見学(2013/11/3)
- 旭山動物園見学(2014/9/14)
- 自然保護学特別講義「エゾシカの保護管理について」参加(2014/7/1) 講師:上野真由美氏
- 桑原康夫氏講演参加(2014/7/5)
- Howlin'Ks Nature School参加(2013/10/6)
- 音別地区エゾシカライトセンサス調査参加
(2013/10/22~10/25 & 2014/10/21~10/24)
- 道職員さん&農家さん:猟友会に聞き込み
- 文献&情報収集

1. エゾシカ被害

農業王国はシカの楽園

- エゾシカの大量発生
一度は絶滅しかけたのに、なぜ？

1. 交通事故被害 1818件(2013年度)
2. 農林業被害 55億円超(2013年度)
3. 自然植生へのダメージ

ヤチツツジ等希少植物が危ない！



2. 現在とられているエゾシカ対策

- シカ柵の設置
- 狩猟の推奨
- エゾシカ資源の有効活用



エゾシカ肉のチンジャオロースとハンバーグ照り焼きソース
(一般社団法人エゾシカ協会HPより)

2. エゾシカ対策の問題点

- シカ柵では生態系回復には役立たない
- 人間ハンターは立派な個体を狙いがち
- エゾシカ資源はちょっとお高い...
- **エゾシカの死体も大事な森の栄養素！**
→あんまり狩りすぎると森に栄養が還元されない...



3. オオカミの再導入論

エゾオオカミはなぜ絶滅したのか

- アイヌ民族とエゾオオカミ

➡ 共生関係

- 明治開拓期の新冠牧場建設(馬繁殖事業)

アメリカからの開拓使による「野獣＝文明の敵」
「オオカミ＝悪魔」像の形成

エゾシカはかろうじて生き残る
エゾオオカミは殲滅

欧米各国ではすでにオオカミ像は見直されつつある！

3. オオカミの再導入論

オオカミの再導入論って？

- 東京農工大学名誉教授の丸山直樹氏が設立し、会長を務める一般社団法人日本オオカミ協会が提唱
- 絶滅したオオカミ(捕食者)を海外から再導入しようというプロジェクト。
- アメリカのイエローストーン国立公園で実施されている。(巻末資料参照)

3. オオカミの森

Howlin'Ks Nature School

オオカミ再導入論賛成派の桑原康夫氏が標茶町で「オオカミの目を通して自然を考える」をモットーに経営しているネイチャースクール。



Howlin'Ks Nature School 参加の様子
2013/10/6撮影

3. オオカミのメリット

- リスク効果
- オオカミによる捕食はシカにとっても悪いことだけじゃない！
- オオカミの食べ残しで他の肉食獣も住みやすくなる! & 森の栄養になる！
- オオカミの自浄作用

北海道で実現すべきでは？

4. オオカミ再導入論の是非 聞いてきました

ライトセンサス調査時

- 環境科学研究センターの宮津直倫さん、長雄一さんや上野真由美さんをはじめとした野生生物の専門家の方々
- 音別地区猟友会事務局長の佐々木さんからオオカミの再導入に関するご意見を聞いてきました。

他のハンターや農家の方にも聞きましたが賛成派は0人でした。

 今の北海道では不可能！

4. 不可能の理由

- オオカミが生息していたころとはすでに環境が違ふ。
- 人によるコントロールが効かない。
- 北海道の農家はオオカミによる獣害を許容できない。
- 日本人が人と動物の相互関係を理解していない。

5. まとめ①

- 北海道でのオオカミの再導入は反対派の意見が強い。

➡ まだ時期尚早である...

ただし、反対派の多くは賛成派の主張を知らない！

5. まとめ②

- 多くの人々が北海道の自然とその現状に関心を持つ。
- オオカミの生態などを理解した上で議論を重ねる。
- 行政努力のみに頼らず狩猟圧を維持し、人と自然が共存できる社会作りというものを考えるようになっていくべき！

6. 政策提言

岩井俊希のオオカミ再導入論

以上のことを踏まえて、オオカミの再導入政策を提言します！

1. どこに再導入するか
2. 何頭再導入するのか
3. その他



6. ①どこに再導入するのか

私が提唱する候補地はやはり**知床**です。



(北海道森林管理局HP知床半島の概要より)

- なぜ知床なのか

6. ②何頭再導入するのか

- どの種類のオオカミを再導入するのか
カナダ・ユーコン地方のハイイロオオカミ亜種(*Canis Lupus occidentalis*)が遺伝子的に見るとベスト！

- 何頭再導入するのか
計算式で表すと...

$$S_i = nT_m + P_b \cdot S_i$$

実数地を入れて計算すると...

$$n = 3 \sim 11$$

20～70頭程度は生息できる！

6. ③その他

他にどのような政策、規制が必要か
イエローストーン国立公園での事例

- 管理費用
- 家畜被害対策
- 疫病対策
- 人馴れ対策

オオカミやエゾシカを資源として活用し、環境問題に関心を持てる社会を作ることが大事！

参考文献①

- デール＝R＝マッカロウ・梶光一・山中正実編著(2006年)
世界自然遺産 知床とイエローストーン 野性をめぐる二つの国立公園(知床財団)
- 丸山直樹・須田知樹・小金澤正昭著(2007年)
オオカミを放つ 森・動物・人の良い関係を求めて(白水社)
- ブレット・ウォーカー著 浜健二訳(2009)
絶滅した日本のオオカミ その歴史と生態学(北海道大学出版社)
- 丸山直樹編著(2014)
オオカミが日本を救う！ 生態系での役割と復活の必要性(白水社)
- 桑原康夫著(2014)
オオカミの謎 オオカミ復活で生態系は変わる!?(誠文堂新光社)
- 大橋弘一編(2009)
北海道の自然を知る Graphic of Hokkaido's Nature fauna No.25(有限会社ナチュラルリー)
- Howlin'Ks Nature School配布資料(2013/10/6参加)
- 北海道新聞夕刊 (2013/5/17)
絶滅危惧種 シカ食害
- 北海道新聞朝刊(2011/6/17)
道 エゾシカ対策26億円
- 朝日新聞夕刊 (2012/12/5)
オオカミ再導入で生態系は？ 米イエローストーン国立公園の試み 100頭近くで推移

参考文献②

- 農林水産省HP 生産農業所得統計(最終閲覧日2014/11/28)
http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/index.html
- 北海道ホームページ
エゾシカ対策課トップページ(最終閲覧日2014/11/26)
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/est/index.htm>
- 北海道森林管理局ホームページ
北海道森林管理局のエゾシカ対策(最終閲覧日2014/11/18)
<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/hozen/sika/sika.html>
- 一般社団法人エゾシカ協会ホームページ
レシピ集(最終閲覧日2014/11/18)
http://www.yezodeer.com/syokutaku/recipe/recipe_index.html

終わりに

- 最後に、私の研究に協力してくださった道東室の方々をはじめとした道職員の方々、桑原さん、音別猟友会の方々、神野先生、友人一同に深く御礼申し上げます。

以上です！

ありがとうございました！